Ⅲ－１　退職年金決定請求書（F-1）記入例

【請求年月日】
請求日は受給権発生日（６５歳の誕生日の前日）を記入してください。

【個人番号または基礎年金番号】
請求者ご自身の個人番号(マイナンバー)または基礎年金番号を記入してください。 個人番号(マイナンバー)は通知カード、マイナンバーカードなど(基礎年金番号で届出する場合にあっては基礎年金番号通知書など)により確認し、正確に記入してください。

【電話番号】・【携帯電話番号等】
自宅の電話番号を記入してください。また、仕事等で日中に連絡の取りにくい場合、入院中や施設入所中の場合には、「携帯電話番号等」欄に連絡の取れる番号を記入してください。

【年金受取機関】
老齢厚生年金と同じ年金受取機関・口座に送金を希望する場合は、①に✔をしてください（②の記入は不要です。）。

老齢厚生年金と異なる年金受取機関・口座に送金を希望する場合は、②に✔をして、以下のとおり記入してください。

＜銀行等（ゆうちょ銀行以外）の口座を希望する場合＞

✔	② ①以外の年金受取機関・口座を指定			
金融機関	金融機関名 ○○銀行	××　本店（所）・支店（所）（支店に○）	口座番号（右詰）	
	金融機関コード	店舗コード	1234567	
郵便局	ゆうちょ銀行	通帳記号（左詰）	通帳番号（右詰）	

＜ゆうちょ銀行の口座を希望する場合＞

✔	② ①以外の年金受取機関・口座を指定			
金融機関	金融機関名	本店（所）・支店（所）	口座番号（右詰）	
	金融機関コード	店舗コード		
郵便局	ゆうちょ銀行	通帳記号（左詰） 12345	通帳番号（右詰） 12345678	

※口座名義が請求者氏名と異なるときは年金の振込ができませんので、請求者ご本人名義の口座を記入してください。

また、希望する年金受取機関の口座が公金受取口座として登録済の場合は、✔をしてください。

✔ 上記②に記載の口座が公金受取口座として登録済の場合
（公金受取口座を指定する場合、通帳もしくはキャッシュカードのコピーまたは年金受取機関の証明は不要です。）。

希望する年金受取機関の口座が公金受取口座として登録されていない場合は、通帳もしくはキャッシュカードのコピーまたは年金受取機関の証明が必要です。

通帳やキャッシュカードのコピー　または　年金受取機関の証明欄（請求者氏名フリガナと口座名義人フリガナが同じであることをご確認ください。 ○○銀行）

【退職年月日等】
①退職した事由に該当するものを〇で囲んでください。
②退職した年月日も記入してください。

【退職年金の繰上げ請求等】
記入不要です。

所属所番号		証番号	

退職等年金給付用

退職年金決定請求書

※太線の枠内に必要事項を記入してください。□欄には記入しないでください。

年金証書記号番号	8－	給料記録番号【214】	8－

下記のとおり請求します。

全国市町村職員共済組合連合会　理事長　様

令和 XX 年 5 月 2 日

項目	記入内容
フリガナ【201】	キョウサイ　タロウ
氏名【251】	共済　太郎
性別【202】	（男）・女
生年月日【203】	（昭和）・平成 XX 年 5 月 3 日
基礎年金番号【261】	
所属機関の名称	○○市役所
フリガナ【209】	ﾄｳｷｮｳﾄ　ﾏﾙﾏﾙｼ　ﾊﾞﾂﾊﾞﾂﾏﾁ2ﾊﾞﾝﾁ3
住所【255】	〒012－0123　東京（都）道府県　○○（市）・区・郡　××町２番地３
住所コード【209】	
電話番号【210】	（03）5210－XXXX
携帯電話番号等【220】	（090）5210－XXXX

年金受取機関【212】（いずれか一方に記入してください。）

✔ ① 老齢厚生年金と同じ年金受取機関・口座を指定

□ ② ①以外の年金受取機関・口座を指定

金融機関	金融機関名	本店（所）・支店（所）	口座番号（右詰）	年金受取機関の証明欄
	金融機関コード	店舗コード		請求者氏名フリガナと口座名義人フリガナが同じであることをご確認ください。
郵便局	ゆうちょ銀行	通帳記号（左詰）	通帳番号（右詰）	

□ 上記②に記載の口座が公金受取口座として登録済の場合
（公金受取口座を指定する場合、通帳もしくはキャッシュカードのコピーまたは年金受取機関の証明は不要です。）。

受給中の年金【441】【952】（退職等年金給付含む。）（停止または請求中の年金も記入してください。）

公的年金制度名	年金種別	年金証書記号番号	受給権発生年月日	選択
厚生年金	老齢厚生	1234-567890-1130	平成 XX 年 5 月 2 日	

退職年月日等【502】

退職事由	退職年月日	法第94条第4項の該当	受給権発生年月日【501】	事由
定年・（普通）・勧奨・その他	（平成）・令和 XX 年 3 月 31 日	□		

退職年金の繰上げ請求等

繰上げ	繰上げ請求年月日	過去の有期退職年金一時金・整理退職一時金の受給の有無	禁錮刑以上の処罰の有無	有期退職年金に係る申出【951】
有・（無）	令和　年　月　日	有・（無）	有・（無）	（20年）　10年※　一時金※

※「10年」及び「一時金」の選択は、退職年金の給付事由発生日から６月以内に請求する場合に限ります。また、申出欄に記載がない場合は「20年」になります。
※受給権を取得した日から起算して５年を経過した日以後にこの請求書を提出する場合は、提出があった日の５年前の日に繰り下げて請求したものとみなします。

（所属所受付印：○○市　RXX.5.20　総務課）　共済組合受付印

【備考】　令和　年　月支給期決定

F-1 (5.4)

【氏名】
住民票記載のとおりに記入してください。また、フリガナも記入してください。

【性別】・【生年月日】
①該当する性別を〇で囲んでください。
②生年月日を記入してください。

【所属機関の名称】
退職時の所属機関の名称を記入してください。

【住所】
住民票記載のとおりに記入してください。また、フリガナも記入してください。

【受給中の年金】
記入不要です。

【有期退職年金に係る申出】
有期退職年金の支給期間の短縮又は一時金で受け取ることを希望する場合は、該当するものを〇で囲んでください。
なお、申出欄に記載がない場合は「20年」になります。
※一時金を選択された場合、別途提出書類がありますので、別添「「有期退職年金を一時金で受け取る場合」の手続きのご案内」をご覧ください。

【禁錮刑以上の処罰の有無】
禁錮刑以上の処罰の有無について記入してください。

【過去の有期退職年金一時金・整理退職一時金の受給の有無】
過去に有期一時金又は整理退職一時金の支給を受けたことがある場合は、「有」を〇で囲んでください。

【所属所受付印】
所属所の受付印については必須項目ではありません。

別紙

65 歳以上で退職した方の退職等年金給付に係る提出書類

スタート

Q1　平成 27 年 10 月以降かつ 65 歳以上では、初めて公務員を退職しますか？

はい

いいえ

Q２　平成 27 年 10 月以降に 1 年以上引き続く組合員期間を有していますか？

はい

いいえ

退職等年金給付を受給できません。
請求書の提出は不要です。

Q３　前回退職した際に退職等年金給付を受給しましたか？

繰下げを希望した

受給した

内容確認後、手続き書類を案内しますので、共済組合年金課までご連絡ください。

Q５　昭和 27 年 4 月 1 日以前生まれですか？

はい

いいえ

Q４　有期退職年金は一時金を選択しましたか？

はい

いいえ

㋓に進む

㋔に進む

Q６　繰下げ請求を検討しますか？

検討しない

検討する

Q７　有期退職年金は一時金を選択しますか？

一時金を選択する

一時金を選択しない

㋐に進む

㋑に進む

㋒に進む

㋐の場合の提出書類

・退職年金決定請求書

・退職所得の受給に関する申告書

・退職金に係る源泉徴収票

㋑の場合の提出書類

・退職年金決定請求書

㋒の場合の提出書類

・請求書の提出は不要です。（共済組合が用意する『繰下げ意思確認書』をご提出いただくことになります。ホームページからダウンロードし、提出ください。）

㋓の場合の提出書類

・退職年金決定請求書

・退職年金　退職改定請求書

・退職所得の受給に関する申告書

（有期退職年金の一時金を選択しない場合は不要です。）

・退職金に係る源泉徴収票（有期退職年金の一時金を選択しない場合は不要です。）

㋔の場合の提出書類

・退職年金　退職改定請求書